
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第83号

2012/02/22配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成23年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

ご連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 2/15～2/22までの更新情報 -----

●お知らせ

【2011/12/28】

- ・「化審法一般化学物質製造輸入量等届出のための事業者向け説明会」を開催いたします。

→ http://www.safe.nite.go.jp/topic/kasinn_setsumeit2012.html

申込み受付中です。先着順のため、お早めにお申込ください。

開催期間：1月23日～3月23日

開催地：東京、さいたま、名古屋、広島、高松、福岡(仙台、大阪会場は受付終了)

内容：届出に関するお知らせ、用途の分類方法に関する説明、届出支援システムの実演、個別相談

【2012/02/22】

- ・アンケート CHRIP利用実態調査へのご協力の御礼

・NITE CHRIPのホームページ

→ <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

NITE 化学物質管理センターが運営する化学物質に関するデータベース「化学物質総合情報提供システム(CHRIP)」の掲載情報の充実や効果的な運用法を検討するため、CHRIPの利用実態についてアンケート調査を実施していましたが、多くの皆様からご回答いただき、無事終了することができました。

本アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。今後と

もCHRIPのご利用をよろしく願いたします。

●経済産業省

【2012/02/15】

- ・化審法のリスク評価に用いる排出係数一覧表の公表について

→

http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/information/ra_emissionfactor-v02.html

平成23年10月3日に公表された標記資料が一部修正・更新された、Ver. 2として公表された。

【2012/02/17】

- ・「指定化学物質等取扱事業者が講ずべき第一種指定化学物質等及び第二種指定化学物質等の管理に係る措置に関する指針の一部を改正する告示案」に対する意見公募

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=595112010&Mode=0>

2月17日から3月17日までの間、標記の意見募集が行われる。

【2012/02/17】

- ・「指定化学物質等の性状及び取扱いに関する情報の提供の方法等を定める省令の一部を改正する省令案」に対する意見公募

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=595112009&Mode=0>

2月17日から3月17日までの間、標記の意見募集が行われる。

【2012/02/17】

- ・非意図的にポリ塩化ビフェニルを含有する可能性がある有機顔料について(第二報)

→ <http://www.meti.go.jp/press/2011/02/20120217012/20120217012.html>

2月10日に公表した、一部の有機顔料が非意図的に生成した微量のポリ塩化ビフェニル(PCB)を含有する件について、製造・輸入事業者から、国際的な基準値(50ppm)を超える商品があった旨の報告があったため、事業者に対して、製造、輸入及び出荷の停止及び回収に関する指導が行われた。

【2012/02/20】

・ナノ物質の管理に関する検討会 第2回リスク評価ワーキンググループ 開催通知

→ <http://www.meti.go.jp/committee/notice/2011a/20120220005.html>

2月24日に標記会合が開催される。議題は、暴露可能性のケーススタディの進め方について、など。

●厚生労働省

【2012/02/15】

・平成23年度 第5回化学物質の健康障害防止措置に係る検討会の開催について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000022q1f.html>

2月28日に標記会合が開催される。議題は、がん原性指針対象予定物質に係る具体的対策について、など。

【2012/02/15】

・化学物質のリスク評価検討会の「第4回有害性評価小検討会」の開催について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000022ps2.html>

3月22日に標記会合が開催される。議題は、有害性評価手法の拡充について、など。

【2012/02/16】

・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会議事録

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000022o4g.html>

1月27日に開催された標記会合の議事録が掲載された。議題は、食品中の残留農薬等に係る基準の設定について、など。

【2012/02/17】

・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会器具・容器包装部会の開催について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000022n1d.html>

3月2日に標記会合が開催される。議題は、

- (1) 食品用器具及び容器包装における再生材料の使用について
 - (2) 食品用器具及び容器包装における規制の見直しについて
 - (3) 乳及び乳製品に使用する器具又は容器包装の規格基準の見直しについて
- など。

【2012/02/17】

・「食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の一部改正(食品中の農薬の残留基準設定)」に関する意見の募集について

・スピロメシフェン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110391&Mode=0>

・トリフロキシストロビン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110393&Mode=0>

・トリアゾホス

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110392&Mode=0>

・ビフェントリン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110394&Mode=0>

・フルフェノクスロン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110399&Mode=0>

・ベンスルフロンメチル

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110402&Mode=0>

・ベノキサコール

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110401&Mode=0>

・シクラニリド

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110389&Mode=0>

・ピリベンカルブ

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110396&Mode=0>

・ルジオキソニル

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110398&Mode=0>

・ピラクロニル

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110395&Mode=0>

・メタアルデヒド

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110403&Mode=0>

・フルオピコリド

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110397&Mode=0>

・ヘキサジノン

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110400&Mode=0>

2月17日から3月17日までの間、標記の意見募集が行われる。

【2012/02/17】

・「食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の一部改正(食品中の農薬及び動物用医薬品の残留基準設定)」に関する意見の募集について

・スピノサド

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495110390&Mode=0>

2月17日から3月17日までの間、標記の意見募集が行われる。

【2012/02/20】

・安衛法名称公表化学物質(平成23年12月27日公示分)を掲載しました。

→ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/201112kag_new.htm

標記情報が掲載された。

●環境省

【2012/02/16】

・PCBを含む廃棄物の焼却実証試験の実施について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14826>

2月22日から2月24日までの間、標記の実証実験が行われる。

【2012/02/16】

・[ケミココ]法令情報等を更新しました

→ <http://www.chemicoco.go.jp/topics.html>

消防法、化学物質環境実態調査へのリンクが追加された。また、大気汚染防止法等の法令情報が更新された。

【2012/02/17】

・被災地における第2次土壌環境モニタリング調査結果(第1報)の公表について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14840>

東日本大震災を受け、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉

県の175地点で土壌環境の調査が実施され、鉛など4物質について、47地点で土壌溶出量基準等を上回った。

【2012/02/20】

・第1回アジア地域化学物質対策能力向上促進講習(ベトナム)の結果について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14849>

2月16日にハノイ(ベトナム)で開催された標記会合の結果が掲載された。

【2012/02/21】

・平成21年度廃棄物処理施設からの水銀等排出状況調査業務報告書

→ <http://www.env.go.jp/recycle/report/h23-14.pdf>

標記報告書が掲載された。

●文部科学省

【2012/02/17】

・学校施設等における吹き付けアスベスト等の対策状況フォローアップ調査等の結果について

→ http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/02/1316400.htm

平成23年10月1日時点の学校施設等における吹き付けアスベスト等の使用実態及び対策の進捗状況が取りまとめられた。

●内閣府食品安全委員会

【2012/02/14】

・「化学物質・汚染物質専門調査会幹事会(第8回)の開催について」を掲載

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/kagaku_osen_annai_kanjikai_8.html

2月23日に標記会合が開催される。議題は、清涼飲料水中の化学物質(硝酸性窒素・亜硝酸性窒素、バリウム、ニッケル、フッ素)の規格基準改正に係る食品健康影響評価について、など。

【2012/02/16】

- ・「イソプロパノールに係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集について」を掲載

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_tenkabutu_isopropanol_240216.html

2月16日から3月16日までの間、標記の意見募集が行われる。

【2012/02/17】

- ・「食品安全委員会農薬専門調査会評価第二部会(第13回)の開催について」を掲載

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/nouyaku_annai_hyouka2_13.html

2月27日に標記会合が開催される。議題は、農薬(スピロジクロフェン、トリフルミゾール、フルオピラム)の食品健康影響評価について、など。

●国立医薬品食品衛生研究所

【2012/02/15】

- ・「毒劇物指定のための有害性情報の収集・評価」欄に2009年度の検討物質の報告書を掲載しました。

- ・ o-クロロフェノール (95-57-8)

→ <http://www.nihs.go.jp/law/dokugeki/hyouka/2009/95-57-8.pdf>

- ・ 2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン (611-06-3)

→ <http://www.nihs.go.jp/law/dokugeki/hyouka/2009/611-06-3.pdf>

- ・ 2,3-ジブromo-1-プロパノール (96-13-9)

→ <http://www.nihs.go.jp/law/dokugeki/hyouka/2009/96-13-9.pdf>

- ・ 1,2,4-トリクロロベンゼン (120-82-1)

→ <http://www.nihs.go.jp/law/dokugeki/hyouka/2009/120-82-1.pdf>

- ・ n-トリブチルアミン (102-82-9)

→ <http://www.nihs.go.jp/law/dokugeki/hyouka/2009/102-82-9.pdf>

- ・ 4-t-ブチルフェノール (98-54-4)

→ <http://www.nihs.go.jp/law/dokugeki/hyouka/2009/98-54-4.pdf>

- ・ 1-ブromoプロパン (106-94-5)

→ <http://www.nihs.go.jp/law/dokugeki/hyouka/2009/106-94-5.pdf>

- ・ 2-メチルアミノ-1-(3,4-メチレンジオキシフェニル)ブタン-1-オン (bk-MBDB) (17762-90-2)

→ <http://www.nihs.go.jp/law/dokugeki/hyouka/2009/17762-90-2.pdf>

標記報告書が掲載された。

【2012/02/15】

・AEGL(急性曝露ガイドライン濃度)の設定値と設定根拠文書の要約部分の翻訳を掲載しました。

・アクロレイン

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Acrolein.pdf

・アリルアミン

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_AllylAmine.pdf

・エチレンイミン

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Ethyleneimine.pdf

・エチレンジアミン

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Ethylenediamine.pdf

・シクロヘキシルアミン

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Cyclohexylamine.pdf

・シス-1,2-ジクロロエテン

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_cis-1,2-Dichloroethene.pdf

・トランスクロトンアルデヒド

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_trans-Crotonaldehyde.pdf

・2,6-トルエンジイソシアナート

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_2,6-Toluenediisocyanate.pdf

・フェノール

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Phenol.pdf

標記翻訳ば掲載された。

●東京都環境局

【2012/02/14】

・「平成23年度VOC対策セミナー -印刷発注時から始まるVOC対策-」を開催しました。

→ http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/air/event/voc/H23VOCseminar_printorder.html

2月14日に開催された標記セミナーの発表資料が掲載された。内容は、

- (1) VOC排出削減対策の必要性
 - (2) 印刷発注におけるVOC削減方法
 - (3) VOCに配慮した印刷発注の取組事例
- など。

【2012/02/14】

・【化学物質対策】平成23年度化学物質の環境コミュニケーション推進セ

ミナーを開催しました。

→ http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/chemical/event/risk_com/index.html

2月14日に開催された標記セミナーの発表資料が掲載された。内容は、

(1) 化学物質のリスクコミュニケーションの必要性と課題

(2) 環境コミュニケーションの事例に学ぶ

- ・ 東京都のリスクコミュニケーション推進地域モデル事業
- ・ リスクコミュニケーションを通じた化学物質排出削減への取組
- ・ 化学工業における地域コミュニケーションの事例

など。

【2012/02/16】

・ 平成24年2月13日開催 第38回東京都環境審議会総会にて「東日本大震災を踏まえた今後の環境政策のあり方について」の答申がありました。

→ <http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/basic/attachement/toshin%EF%BC%88240213%EF%BC%89.pdf>

標記答申が掲載された。

【2012/02/17】

・ 要措置区域等の情報を更新しました。

→ http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/chemical/soil/law/designated_areas.html

標記情報が更新された。

【2012/02/21】

・ 第6回土壌汚染対策セミナーの開催について

→ http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/chemical/event/soil_seminar/2010.html

2月29日に標記セミナーが開催される。内容は、

(1) 土壌汚染の未然防止及び操業中からの対策について

(2) 土壌汚染対策法の手続きについて

など。

●安全衛生情報センター

【2012/02/20】

・ 東日本大震災関連情報の石綿(アスベスト)対策に通達を1件追加しました

→ <http://www.jaish.gr.jp/anzen/hor/hombun/hor1-53/hor1-53-6-1-0.htm>

通達「建築物等の解体等の作業における事前調査の徹底等について」が掲載された。内容は、石綿等の使用状況の通知の促進、事前調査の適正な実施と分析による調査について。

●科学技術振興機構 (JST)

【2012/02/21】

- ・デイリーウォッチャーを更新しました。
- <http://crds.jst.go.jp/watcher/>

次の記事が掲載された。

- ・[フランス]国立研究機構(ANR)による「汚染物質と環境」プロジェクト公募の延期

●欧州化学品庁(ECHA)

【2012/02/14】

- ・Public consultation of harmonised classification and labelling
- <http://echa.europa.eu/harmonised-classification-and-labelling-consultation>

ECHAは、CLP物質の分類表示の調和化提案に関するパブリックコンサルテーションを開始した。対象物質は、2物質(Dimethyltin bis(2-ethylhexylmercaptoacetate), DMT (EHMA)及びジクロロジメチルスズ)で、コメント提出期限は3月30日。

【2012/02/15】

- ・The OECD Test Guideline 443 is a new option for investigating reproductive toxicity

→

http://echa.europa.eu/web/guest/view-article/-/journal_content/11d02889-6a85-4f17-a6c3-b749a2a5496

3

ECHAは、ある条件下で実施されたOECDテストガイドライン443(延長一世代生殖毒性試験)に基づくデータは、REACH規則における2世代生殖毒性試験の要件を満たすことを発表した。

●US EPA

【2012/02/16】

・ Modification of Significant New Uses of Tris Carbamoyl Triazine

→ <http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/FR-2012-02-08/pdf/2012-2909.pdf>

米国EPAは、tris carbamoyl triazineに対する重要新規利用規則の最終規則を発出した。本規則は2012年3月9日に施行される。

【2012/02/20】

・ EPA Updates Science Assessment for Dioxins / Air emissions of dioxins have decreased by 90 percent since the 1980s

→

<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/48f0fa7dd51f9e9885257359003f5342/33bcba60ed25a9b1852579a700604ed7!OpenDocument>

米国EPAは、ダイオキシンにおける発がん性以外の有害性に関する評価を更新した。また、ダイオキシンの大気への排出量は1980年代から90%減少していること、現在の知見に基づくとダイオキシンへのばく露は有意な健康リスクとはならない等の結論が取りまとめられた。

●化学物質国際対応ネットワーク

【2012/02/14】

・ コラム「これからの化学物質管理」第3回を掲載しました。

→ http://www.chemical-net.info/column_kizuki%20kitamura.html

標記コラムが掲載された。内容は、ナノ材料についての課題について。

【2012/02/14】

・ コラム「欧州GHS対応事例-CLP規則の本質と活用-」第2回を掲載しました。

→ http://www.chemical-net.info/column_kizuki%20yamaguchi.html

標記コラムが掲載された。内容は、2nd ATPも含めたCLP規則の特徴について。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

●【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

●配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして
配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

- ・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする
場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- ・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまで
お問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

- ・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター
- ・記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境・資源エネルギー部 環境リスクチーム